

収支差額の発生内訳

参考資料3

①現行システムによる運営費、②現行システムの契約済費用、③システム改造費用については、これまでの現行システムの利用に伴い発生した収支差額であることから、新システムによりFAX移動報告を行う事業者からの手数料で賄うことは不適切。

(千円)

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	合計
収入(現行手数料)	1,375	4,749	2,375	1,425	1,188	1,188	1,188	1,188	14,676
①現行システムによる運営費(注1)	40,488	55,170	50,515	—	—	—	—	—	146,173
②現行システム契約済費用(注2)	16,625	30,698	28,596	35,310	31,160	31,160	10,385	—	183,934
③システム改造費用(注3)	—	—	52,610	—	—	—	—	—	52,610
④新システムによる運営費(注1)	—	—	—	4,369	3,643	3,643	3,643	3,643	18,941
①～③収支差額(注4)	-55,738	-81,119	-129,346	-35,310	-31,160	-31,160	-10,385	0	-374,218
④収支差額	—	—	—	-2,944	-2,455	-2,455	-2,455	-2,455	-12,764

FAXによる移動報告数	—	100	50	30	25	25	25	25
-------------	---	-----	----	----	----	----	----	----

※H17. 9月を100としたときの割合

(注1)システム運用費、印刷費、郵送費等

(注2)現行システムについては、長期契約による費用低減の観点から、平成22年7月までの利用契約を一括で締結している。

(注3)もともと手作業を中心とした現在のシステムを構築していれば発生しなかった費用であるため、新システムの利用事業者からの手数料で賄うことは不適切と考えられる。

(注4)H19年度以降の収入は除く。